木更津		 穿専門学校	開講年度	平成31年度 (2	 2019年度)	授	業科目	プログラミン	√グ II	
科目基礎		3 131 3 3 121	11.3213 1.22	1 / / / / /		, ,,,,	2151 1 - 1		-	
科目番号		0051			科目区分	専門 / 必修				
授業形態		授業				立数				
開設学科		電気電子工学科			対象学年		2			
開設期	前期			週時間数	2					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			『C言語によるプログラミング基礎編』		(第2版) オーム	第2版) オーム社、2001年、2,200円(+税)				
担当教員		若葉 陽一								
到達目標										
条件分岐や総特定の問題は	繰り返し、 に対してこ	配列、文字を	列処理、ポインタ、 し、プログラムを作	関数化、構造体、 F成する	ファイル入出力等	の使いる	方を覚え、			
ルーブリ		2102 (2013)	3, 7 = 7 7 = C	1777 0						
			理想的な到達レ	標準的な到達レイ	標準的な到達レベルの目安 未到達レベルの目安			の目安		
			仕様が与えられたとき、1から条		仕様が与えられたとき、ヒントを		仕様が与えられたとき、ヒントを			
C言語によるプログラムの作成(条件分岐文、繰り返し文、配列化)			件分岐文、繰り返し文、配列を用いてプログラムを作成できる		与えると条件分岐文、繰り返し文 、配列を用いてプログラムを作成 できる			与えても条件 、配列を用い できない	分岐文、繰り返し文 てプログラムを作成 	
文字列処理やポインタを含むプロ グラムの作成			仕様が与えられたとき、1から文 仕様が与えられた 字列処理やポインタを用いてプロ 与えると文字列処 グラムを作成できる 用いてプログラム			処理やポインタを 与えても文字列処理やポインタを				
プログラムの	の関数化			たとき、 1 から関 グラムを作成でき				仕様が与えら 与えても関数 を作成できな	れたとき、ヒントを を用いてプログラム い	
学科の到記	達目標項	目との関係			,			,		
		士課程 2(3)								
教育方法等	 等									
概要 プログラミング I で修得したC言語の基礎的な知識の定着化を図ることに加え、情報処理演習につながるようにの知識の向上と応用力を培うことを目的とする。								よがるように、C言語		
授業の進めが	方・方法			ゴプログラミングの						
注意点		そのため、	演習時には教科書]で作成できるよう! 等を参考にして自り 習をすることが望	らで考えてプログ [・]	中身をし ラミンク	_ノ っかりと ^取 ブを行う必要	理解して欲しい。 要がある。		
授業計画										
		週	授業内容			週ごと	の到達目標			
	1stQ	1週	オリエンテーション アルゴロジック		プログラミング環境を構築できる アルゴリズムを考えられる					
			フルコロファフ これまでの復習		変数・入出力・演算を使ってプログラムを作成できる					
			これまでの復習 これまでの復習		条件分岐・繰り返し処理を使ってプログラムを作成で					
			これな COが返回 1次元配列と多次元		きる 配列の概念を理解し、配列を使ってプログラムを作成					
			文字と文字列処理		文字の扱い方を理解し、文字列を処理するプログラム を作成できる					
		6週	 ライブラリ関数		ライブラリ関数の使い方を理解し、プログラムを作成 できる					
		7週 7				これまでの講義内容の演習問題を解くことができる				
l to the			中間試験							
前期		9週 :	ユーザ関数			ユーザ関数の概念を理解できる				
		10週	ユーザ関数			ユーザ関数を使ったプログラムを作成できる				
		11週 7	ポインタ			アドレスの概念を理解し、ポインタを使ったプログラムを作成できる				
		12週 7	ポインタと再帰呼び出し			ポインタ関数と再帰呼び出しの概念を理解し、それらを使ったプログラムを作成できる				
	2ndQ	13週 #	構造体とファイル入出力				構造体の概念と使い方を理解し、構造体を使ったプログラムを作成できる アキストファイルからデータ入出力を行うプログラムを作成できる			
		14週 🧸	これまでの復習			これまでの講義内容の演習問題を解くことができる				
		15週 5	定期試験							
		16週								
評価割合					1					
	試販		発表	相互評価	態度		トフォリオ	その他	合計	
					i .	1		10	1	
総合評価割合	合 80		0	0	10	10		0	100	
基礎的能力	合 80 40		0	0	5	5		0	50	
	会 80 40 40		-					+		